

総合原価計算 第17問 問題

当社では、製品を連続生産しており、単純総合原価計算を行っている。次の資料にもとづいて、以下の問に答えなさい。なお、減損の計算方法は、度外視法を採用している。また、完成品単位原価の計算において端数が生じた場合は、小数点以下第2位で四捨五入しなさい。

(資料) ① 当月生産データ

月初仕掛品	1,000 kg (50%)
当月投入	<u>12,000</u>
合計	<u>13,000</u> kg
月末仕掛品	1,500 kg (40%)
正常減損	500
完成品	<u>11,000</u>
合計	<u>13,000</u> kg

(注1) 原料はすべて工程の始点で投入される。

(注2) ()内の数値は加工進捗度を示している。

(注3) 正常減損は工程の終点で発生している。

② 月初仕掛品原価、当月製造費用

	月初仕掛品原価	当月製造費用
原料費	474,600 円	6,288,000 円
加工費	<u>390,820</u>	<u>9,291,600</u>
合計	<u>865,420</u> 円	<u>15,579,600</u> 円

問1 平均法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

問2 先入先出法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

	問1	問2
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	円/kg	円/kg

総合原価計算 第17 模範解答

	問 1	問 2
月末仕掛品原価	1,260,420 円	1,266,600 円
完成品総合原価	15,184,600 円	15,178,420 円
完成品単位原価	1,380.4 円/kg	1,379.9 円/kg

【解説】

生産データ				
1,000	500	11,000	11,000	加工換算量 ; 月初仕掛品 1,000kg × 50% = 500kg 月末仕掛品 1,500kg × 40% = 600kg 正常減損 500kg × 100% = 500kg
		500	500 (1)	
12,000	11,600	1,500	600 (0.4)	

問 1

総合原価計算表					
(平均法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
月初仕掛品	1,000	474,600	500	390,820	865,420
当月投入	12,000	6,288,000	11,600	9,291,600	15,579,600
合 計	13,000	6,762,600	12,100	9,682,420	16,445,020
月末仕掛品	1,500	780,300	600	480,120	1,260,420
差 引	11,500	5,982,300	11,500	9,202,300	15,184,600
正常減損	500	—	500	—	—
完 成 品	11,000	5,982,300	11,000	9,202,300	15,184,600

完成品単位原価 ; 15,184,600円 ÷ 11,000kg ≒ 1,380.4円/kg

問 2

総合原価計算表					
(先入先出法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
当月投入	12,000	6,288,000	11,600	9,291,600	15,579,600
月末仕掛品	1,500	786,000	600	480,600	1,266,600
差 引	10,500	5,502,000	11,000	8,811,000	14,313,000
正常減損	500	—	500	—	—
差 引	10,000	5,502,000	10,500	8,811,000	14,313,000
月初仕掛品	1,000	474,600	500	390,820	865,420
完 成 品	11,000	5,976,600	11,000	9,201,820	15,178,420

完成品単位原価 ; 15,178,420円 ÷ 11,000kg ≒ 1,379.9円/kg